

## 8月末の防災訓練、安定ヨウ素剤事前配布、 使用済燃料の中間貯蔵・乾式貯蔵に関する質問・要望書

高浜町長 野瀬 豊 様

日頃は原発事故時の避難計画等に尽力いただき、ご苦労さまです。

8月25・26日に国主導の「平成30年度原子力総合防災訓練」が実施されました。訓練当日は晴天でしたが、豪雨、地震、台風21号の被害等、「命の危険を感じる」災害が多発しています。台風21号では、道路が寸断されて孤立する地域もありました。深刻な自然災害と福島原発事故の被害の実態、緊急避難時の職員の仕事量からしても、UPZ地区でも安定ヨウ素剤を事前配布することは必要不可欠ではないでしょうか。

他方で、原発の運転継続によって、高浜・大飯原発の使用済燃料プールはひっ迫しています。福井県知事は昨年11月に大飯原発の再稼働にあたって、今年12月までに、福井県外で計画地点を明らかにするよう関電に約束させました。ところが高浜町長は、敷地内での「乾式貯蔵も一つの選択肢」と発言されています。中間貯蔵や乾式貯蔵の後に搬出する先は決まっていません。六ヶ所再処理工場は40年の寿命で、約50年間貯蔵した後には存在しません。また、「第二再処理工場」はエネルギー庁の資料からも消え、計画の目途さえありません。このような状況で、中間貯蔵や乾式貯蔵を受け入れれば、使用済燃料は孫子の代まで高浜町に居座ることになります。

福島原発事故から7年半が過ぎましたが、立地の町や周辺住民は故郷に帰ることもできず、いたるところで汚染土の詰まったフレコンバックが山積みになっています。原発事故の過酷な現実を直視して、原発継続のための中間貯蔵を受け入れないでください。

以下の質問と要望に答えてください。

### 1. 防災訓練について

#### (1) 女性職員の戸外での作業従事について

今回の訓練でも、放射線への感受性が高い若い女性職員が戸外で任務についていました。2年前の防災訓練でもそうでした。

この件については、2年前の訓練後に内閣府・規制庁との交渉で、「実際の事故時には、女性職員は外すのか」との問いに「そうなるべきだ」（内閣府）と答えました。また、その後の9月30日付の福島みずほ参議院議員への文書回答では、「福井県や京都府にこのことを伝え、指導したのか」との質問に「関係自治体には、改めて周知を実施しております」（別紙資料）と答えています。

①この2年間に、女性職員を戸外の任務に就かせないようにと、福井県等から連絡はありましたか。

②今後は、訓練でも、女性職員は戸外の任務に就かせないようにすべきではないでしょうか。

#### (2) 防災訓練の事故想定について

今回の防災訓練は、大飯原発と高浜原発の同時発災を想定した訓練との位置づけで、マスコミでも大きく報道されました。しかし今回の訓練の事故想定は、両原発の全面緊急事態の後、高浜原発4号は事故が収束し、放射能放出は大飯原発3号のみという内容でした。このことは、福井県防災課に確認し、福井県資料でも放射能放出は大飯原発だけとなっています。

①高浜原発は事故が収束し、放射能放出は大飯原発のみという今回の想定について、事前に県や国から知らされていなかったか。

②今回の想定では「同時発災」とはいえず、両原発事故時の放射能放出量や被ばくの影響を考慮したうえで、避難等について検討していくべきではないでしょうか。

## 2. 安定ヨウ素剤の事前配布について

福井県議会では、嶺南地域の議員が安定ヨウ素剤の事前配布を求めています。これに対して県は「配布説明会等で費用がかさむ」ことなどを理由にUPZでは事前配布は行わない旨を回答しています。しかし、ご存知のように、住民説明会の費用も国の交付金から支給されます。また、県は「UPZで事前配布している府県はない」と答弁していますが、ひたちなか市、島根原発UPZの島根県4市（松江市、出雲市、雲南市、安来市）、鳥取県米子市・境港市でも住民説明会が始まっています。

①高浜町は、PAZとそれに準ずる地域では、安定ヨウ素剤の事前配布が既に実施されています。事前配布されていないUPZの地区と住民数はどれくらいですか。

②自然災害と原発事故が重なれば、道路の寸断などで住民は孤立します。住民の安全を守るために、高浜町UPZ全域で事前配布すべきではないでしょうか。

③UPZの保育所・幼稚園・学校・病院等では、備蓄は進んでいますか。

## 3. 使用済燃料の中間貯蔵・乾式貯蔵について

町長は8月22日に「関西電力が2018年内に計画地点の提示を目指している使用済み核燃料の乾式の中間貯蔵施設について、（県内にある関電の原子力発電所の）敷地内の選択肢も、今後は考える必要がある可能性がある」と述べています（日経新聞 8月23日付）。

①関電や国等から、敷地内での中間貯蔵・乾式貯蔵について打診等があったのですか。

②福井県知事は「中間貯蔵は県外で」と関電に約束させています。昨年に続き今回もこのような発言をされていますが、福井県と相談や議論はしているのですか。

③中間貯蔵や乾式貯蔵後の搬出先は決まっています。中間貯蔵を受け入れれば、原発が廃炉になった後も、孫子の代まで核のゴミを受け入れることになるのではないのでしょうか。

### 要 望 事 項

1. 訓練であろうと、放射線の感受性の高い若い女性職員を戸外での任務に従事させないでください。
2. UPZの地区でも、安定ヨウ素剤の事前配布を実施してください。
3. 高浜町を核のゴミ捨て場にしないために、使用済燃料の中間貯蔵や乾式貯蔵を受け入れないと表明してください。

2018.10.12 ふるさとを守る高浜・おおいの会

原発設置反対小浜市民の会

避難計画を案ずる関西連絡会（連絡先団体：グリーン・アクション/原発なしで暮らしたい丹波の会/脱原発はりまアクション/原発防災を考える兵庫の会/美浜の会）

この件の連絡先：美浜の会 大阪市北区西天満4-3-3 星光ビル3階 TEL 06-6367-6580